

# 漁況情報 No.23

平成 18 年 12 月 26 日発行

岩手県水産技術センター 漁業資源部

Tel : 0193-26-7915、Fax : 0193-26-7920、E-mail : [CE0012@pref.iwate.jp](mailto:CE0012@pref.iwate.jp)

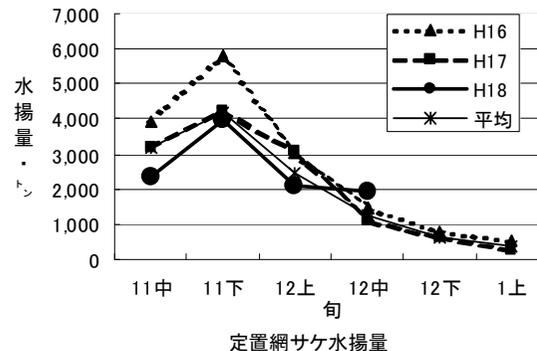
\* 本報は当センターホームページ (<http://www.pref.iwate.jp/hp5507/>) に掲載しています。

## << トピックス >>

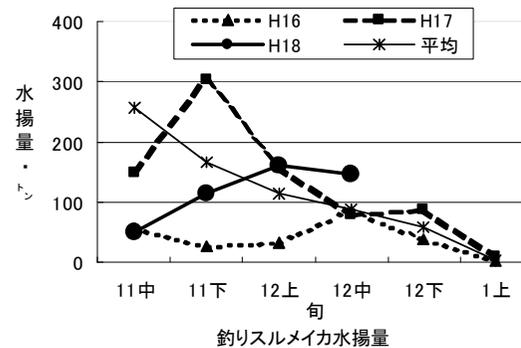
アキサケ(定置網)、スルメイカ(いか釣り)の旬水揚げは前年を上回りました。  
マダラ、スケトウダラ(底曳網)の旬水揚げは前年を下回りました。

### 1. 水揚げ状況

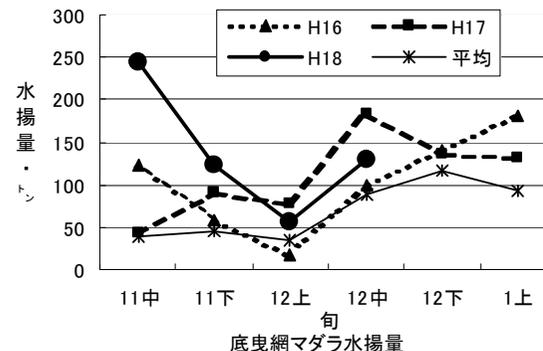
(1) アキサケ(定置網)は宮古、釜石を中心に水揚げがあり、12月中旬の水揚げ量は1,923トン(前年の1.8倍)でした。また、12月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は1,267トンで、旬水揚げはその1.5倍でした。年累計は15,829トン(前年の92%)です。



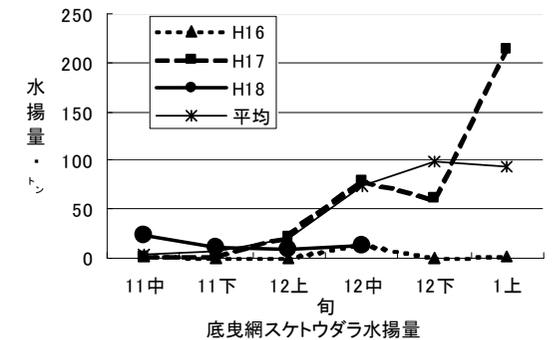
(2) スルメイカ(いか釣り)は久慈、大船渡を中心に水揚げがあり、12月中旬の水揚げ量は147トン(前年の1.9倍)でした。また、12月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は87トンで、旬水揚げはその1.7倍でした。年累計は1,588トン(前年の38%)です。



(3) マダラ(底曳網)は宮古を中心に水揚げがあり、12月中旬の水揚げ量は129トン(前年の70%)でした。また、12月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は89トンで、旬水揚げはその1.4倍でした。年累計は2,992トン(前年の89%)です。



(4) スケトウダラ(底曳網)は水揚げがまともならず、12月中旬の水揚げ量は12トン(前年の15%)でした。また、12月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は73トンで、旬水揚げはその16%でした。年累計は5,260トン(前年の1.4倍)です。



\* 水揚げ状況は主要6港(久慈、宮古、山田、大槌、釜石、大船渡)の集計です。

### 2. 調査結果、その他の情報

◎ 平成18年度第2回イワシ・アジ・サバ等長期漁海況予報が12月18日に発表されました。詳細は水産庁、水産総合研究センターのホームページをご覧ください。

#### 《 海況 》

潮岬以東の黒潮は、1月～6月は33°N付近を東進し、八丈島付近を通過後、蛇行しながら東へ流れる離岸傾向の流路パターンが継続する。

沿岸水温は、潮岬以西が「平年並み」～「高め」で小蛇行通過時に「低め」、潮岬～犬吠埼が「平年並み」～「低め」で暖水波及時に「高め」、伊豆諸島北部海域が「低め」基調、同南部海域が「高め」～「極めて低め」で短期的に変動し、犬吠埼以北が「平年並み」～「高め」で親潮系冷水南下時に「極めて低め」で推移する。

#### 《 漁況(来遊量予測) 》

○マサバ・ゴマサバ太平洋系群

1、2歳魚は前年を下回る。

3歳魚は前年を上回る。

サバ類全体としては前年を下回る。

○マアジ太平洋系群

紀伊水道外域東部は前年並み、他は下回る。

○マイワシ太平洋系群

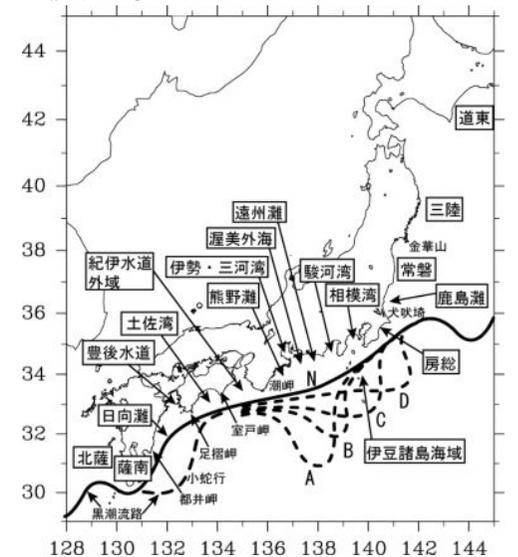
依然として低水準である。

○カタクチイワシ太平洋系群

全体としては前年をやや下回る。

○ウルメイワシ太平洋系群

前年を上回る。



「フィッシャリィ・ネットいわて」(<http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>) で、日別・市場別・魚種別の水揚げ状況、定地水温などを検索できますので、こちらもお活用下さい。